

講義名	研究演習		
講義コード	45411	授業形態	
担当教員	森脇 丈子	開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限
		サンパリング・コード	SEM350
学部・学科	演習分野		
全学部全学科	消費者問題の視点からみた生活経済の現状と課題分析		
概要説明			
<p>私たち消費者は、どのように社会との関わりを持ちながら生活しているのでしょうか。購買意欲をそえられる商品やサービスとそれを購入する消費者、収入を得るために働く労働者、企業を運営する経営者や幹部、退職した人、何らかの形で他者からの助けを受けながら生活する人などさまざまです。私たちの生活にとって、より安定的で快適な消費の形について、消費活動や働き方、世帯構造と生活様式の変化の側面から研究していきます。</p> <p>適切な日本語の使い方、わかりやすいプレゼンの仕方、他者の話を聞き自分の考えを論理的に述べることのできる力、課題に必要な資料の探し方・活用の仕方まで身につけていきます。テーマは、学生の関心のある領域をとりあげていきます。学内・学外での「実学」（社会共創企画）にぜひチャレンジしてください。</p> <p>【授業のイメージ】 第1回～第5回：本や新聞記事を用いて、生活や消費に関連するテーマについて議論します。議論するための準備として、前もって宿題で単語を調べたり、わからないことを調べたりします。自分で質問を準備したり、考えをまとめて人前で発表できるようにしてください。 第6回～第15回：本や新聞記事をもとに、報告をつくってもらいます。報告の作り方は授業の中で説明します。報告では、自分で調べたこと、疑問点、みんなで議論したいことなどを提示してもらいます。 社会共創企画に参加する場合には、企画の準備を優先することがあります。</p>			
主な卒業論文のタイトル			
<ul style="list-style-type: none"> ・AIの発展と規制の現状について - 米、EU、中国、日本の比較から日本の未来を考える - ・現代社会と「ゲーム依存」の密接関係性 ・ベトと共存していく方法 ベット産業や殺処分現状から考える ・次世代自動車の可能性 環境問題から考えて ・日本の空き家問題 - 政策による空き家の増加抑止と再利用の考察 ・東京ディズニーリゾート - ホスピタリティがもたらす効果 - ・ストレス社会に打ち勝つ余暇生活 ・日本の消費量と消費量の推移について ・効率の良い脂肪トレーニング - 健康的なダイエット ・生活習慣病と健康的な体作り ・カーブの企業戦略と優勝 - 人気理由 ・マラソンにおける効果的な練習と食事について ・音楽の成り立ちと現代音楽市場の状況 			
教員からの要望			
<p>研究演習 は、対面授業です。必ず出席してください(遅刻厳禁)。やむを得ず欠席する場合には、前もって連絡をいれてください。無断欠席が続く場合には、「履修の意思なし」とみなします。その場合、単位の修得はできません。</p> <p>ゼミでは、テーマを決めて議論をおこないます。授業内で、参加者の発言を求めますので、発言できるよう準備しておいてください。必ず宿題をしたうえで、ゼミに参加してください。</p> <p>新聞記事や本を使って、内容を把握し、それを報告し、議論する、これがゼミの運営の基本です。そのため、普段の生活で話題になっている経済情報やニュースに触れる機会を多くつくってください。また、新聞や本などの活字にも慣れていってください。</p> <p>筋道の通った話ができる人材になれるよう、訓練をしていきます。そのため、毎回宿題を出します。努力が必要ですが、楽しみながら挑んでください。</p>			
選考方法			
<p>1. 提出書類の内容 2. 面接（面接の際には「ゼミで何に取り組みたいか、どのような力をつけたいか」について教えてください。）の2点で選考します。</p> <p>基本は 挨拶ができて時間を守る人、かつ、やる気のある人 であれば、受け入れOKです。 なお、毎週宿題をだしますので、宿題をしたうえでゼミに参加してください。</p> <p>《注意》ゼミで議論に参加しない（発言しない）人、宿題をやってこない人、無断欠席をする人は単位が修得できません。</p>			

評価方法	
到達目標	
<p>(1) 経済学の基礎知識を身につけ、ニュースや新聞、本などを参考にして、社会の動きに興味をもてるようになる。 (2) 資料の探し方、信頼できる数字等から自分の興味のある社会問題について調べて報告できるようになる。 (3) 文章をしっかりと読みこなす力、報告できる力、聞いている人に自分の伝えたいことを適切な言葉や表現を使って伝えることができるようになる。 (4) 本を読む力、しっかりと考えて問題を解決する能力を身につけることができるようになる。</p>	
評価方法：成果物	
<p>(1) テーマを決めて、各人の報告を準備してもらいます。この報告プリントは毎回提出してもらいます。このプリントを成果物として取り扱います。 (2) 報告プリントは参加者全員に配布できるよう授業の前日の午前中までに提出してもらいます。授業前日の午前中までに担当教員（キャンパスクロス経由）に提出できない場合には、必要枚数(ゼミ参加者分)を自分でコピーして授業に持参してください。 「研究演習」では、卒業論文(20,000字以上)を書く。卒業論文の要約を作る(2,000字程度)、もしくは、社会共創企画への参加等に基づき成果物(取り組みの経過を示す報告プリント、それらをまとめた最終レポート(全体で10,000字程度)を提出してもらいます。もしくは「研究演習」の成果物となりま</p>	
教員英字氏名	研究室
MORIWAKI Takeko	研究棟 4階 5411
最終学歴	
立命館大学大学院経済学研究科博士課程後期課程(単位取得満期退学)	
学位	
経済学修士	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
<ul style="list-style-type: none"> ・生活経済論、消費経済論 ・消費生活の日仏比較 ・フランスの小売業、地域に根づいた生産・消費共同体の調査・分析 	
趣味・特技	
<ul style="list-style-type: none"> ・街中散歩、山歩き ・映画鑑賞 ・海外ニュースのチェック 	
所属	
経済学部 経済学科	
所属学会	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本流通学会 ・日本消費経済学会 ・日仏経営学会 ・日仏社会学会 ・経済理論学会 	
専門分野	
<ul style="list-style-type: none"> ・生活経済論、消費経済論、社会経済学 	
担当科目	
<p>講義科目 消費者問題論、 NPO論、 生活構造論、 経済学入門(人間社会学部)、 経済学入門(商学部)、 英語で学ぶ経済、新聞を読む、教養特講 (経済学科へのいざない)</p> <p>演習科目 研究演習 研究演習</p> <p>その他 公務員特別演習</p>	
備考	
上記の「担当科目」うち、<講義科目>のなかから一つ以上を必ず受講してください。	
実務経験の有無及び活用	
実務経験なし	